

# 「第三の場所」つくろう



西澤隆介さん（左）やクリエイティブ部の講師と共に  
店名やロゴを考える部員たち（右側）

ほっとイレブンは元同 西澤隆介さんの34歳青森  
町地域おこし協力隊員の 市出身が2022年10

## 改装やロゴ作り

### 三戸高クリエイティブ部事業参加

三戸 青森県立三戸高クリエイ  
ティブ部が、三戸町内に「サ  
ードプレイス（第三の場所）」をつくる事業に参  
加している。同町同心町のカフェ「いななふま  
ほっとイレブ」の2輪を改装し、町内外の人が

気軽に立ち寄れる場所をつくる計画で、部員は店  
名考案やロゴ作りなどで協力。学校から飛び出し  
て実際に地域に関わる機会を、部員たちは「年齢  
にかかわらず人が集まる場所づくりには貢献した  
い」と意気込んでいる。  
（土橋隆博）

西澤さんは店舗改装を  
DIYで改装し、コワー  
キングスペースやイベン  
ト会場、宿泊場所など  
として活用できる「サード  
プレイス」提供を目指す。  
サードプレイスは、仕事  
に関わる「職場」、プラ  
イベートな「家庭」とは  
異なる第三の居場所を意  
味する。  
昨年、同部の講師を務  
めるコピーライター日下  
慶太さんがほっとイレブ  
ンを訪れた際に西澤さん  
の計画を聞き、三戸高  
の生徒も参加できない

のねこにちなんだ店名  
や内装、メニューをそ  
ろえ、地域住民や町外から  
の来訪者に親しまれてい  
る。

## 店名考案も、「noconoco」に



改装作業で西澤隆介さん（右）から指導を受けながら  
室内の壁を壊す部員たち

西澤さんは「高校生が  
主体的にまちづくりに関  
わることはなかなかない  
と表現を寄せた。

か」と提案したという。  
日下さんは「場所づく  
りという事業は市民のた  
めになるし、生徒自身も  
使える。いい経験にもな  
るので、関われば最高  
だと思う」と歓迎する。  
西澤さんも了承し、部  
員たちは店名やロゴのア  
イデアを練り始めた。今  
月11日には三戸高で西澤  
さんに二つの店名案を示  
し、「noconoco  
（のこのこ）」が採用さ  
れた。  
西澤さんは「高校生が  
主体的にまちづくりに関  
わることはなかなかない  
と表現を寄せた。

機会、生徒のアイデアが  
楽しみだし、生かした  
から魅力的な場所をつくり  
上げたいと力をおこめる。  
スペースの供出開始は今  
秋を予定しているとい  
う。